

かけはし

沖代小学校だより 第3号

平成27年7月 発行

文責：栗田 英代

<http://syou.oita-ed.jp/nakatu/okidai>

大きく成長した1学期でした



早いもので、もう1学期のまとめの時期に入りました。子どもたち全員が、大きな事故もなく元気に1学期が過ごせましたことを、地域・保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

さて、1学期の子どもたちの様子ですが、わずか3か月あまりなのに成長したなあというのが実感です。1年生は、ひらがなもカタカナも書けるようになり、たし算もできるようになりました。2年生は、先生が出張の日でも、自分勝手をする人がおらず、給食当番や学習ルール等、自分たちでちゃんとできていてびっくりしました。3年生は、リコーダー、毛筆、社会、理科など新しい学習が増えましたが、どの子どもも一生懸命挑戦しています。4年生は、干潟新聞、社会見学新聞など書くことを楽しみ、学年全体に学習に向かう雰囲気が高まってきました。香々地で成長した5年生、幼稚園生とのプール交流では心配りが素晴らしく、未来の6年生の姿を彷彿とさせました。そして、6年生は日々の小さなこと（集会、縦割り班そうじ、校内の歩き方、給食当番のエプロン等々）にも沖代小学校のリーダーとしての自覚があり、一人一人が頼もしく見えました。

貴重な夏休み、学校ではできない体験をたくさんして、一層成長した子どもたちに会えることを楽しみにしています。



稲は人の足音を聞いて育つ



学校田のお世話をしてくださっている久恒さん。毎日のように、田んぼに足を運んで、稲の成長を見守ってくださっています。この言葉は、久恒さんのお父さんが、稲を育てる時の心がけとしていつもおっしゃっていたそうです。だから、久恒さんも、その言葉通り、もう何年もずっと、こうして田んぼに足を運んでいるとのこと。行ったからといって毎回何かをするわけではなく、「大きくなってるか」「元気か」そんなことを心の中で問いかけながら見てくださっているのだと思うのです。稲は、何も言わないけれど、毎日心を込めて見ることで、ちゃんと育てていくことができるということなのでしょう。

稲だけではなく、子どもも同じだなあと感じます。子どもは、肝心なことは案外言わないものです。だからこそ、毎日心を込めて見ることで、声ならぬ声に耳を傾け、「見てるよ」「わかってるよ」「すきだよ」という無言の愛情メッセージを届けたいものです。

学童保育の「ひだまり」が、8月から南校舎一階「たんぼぼ」横の部屋に移転します。それに伴い、工事や引越の車両が入ってきますので、社会体育等の際は十分ご配慮をお願いします。

地区連絡会が開かれました



6月、地区ごとに地区連絡会が開催されました。取り組みに対するご理解、ご協力ありがとうございました。本年度も「かけはし」を通して地域とのつながりを深め、子どもたちの健全育成を図っていきたいと思います。地区連絡会で出された子どもたちの地域での様子、学校への要望や危険個所の情報をもとに、現状を確認したり、関係機関に連絡を取ったりします。また、指導が必要なものについては職員会議で検討し、共通理解を図りました。集まった情報については、2学期のかけはし等でお知らせします。

夏休みがはじまります



子どもたちが待ちに待った、夏休みがはじまります。夏休みが終わった後、「あれもよかった。これもよかった。夏休みは、やってよかったことがたくさんあったな。」とすることができる。→(理想)ところが、終わってみると、「この夏休みは、いったい何をしたのだろう?」とよく分からない結果になることが多いものです。→(現実)

子どもたちが、地域・家庭・保護者の元へ帰る夏休みです。子どもたちが自ら成長していくことができるような、言葉かけ・親子のふれあい等々、よろしく願います。何かひとつでも子どもたちが、自分で計画を立て、最後まで粘り強く取り組めるとよいですね。
(継続は力)

○ 規則正しい生活を!

早寝早起きは、基本です。自分で立てた生活スケジュールがくずれないように過ごしましょう。適度な運動も忘れずに。ゲームや遊びは時間を決めましょう。



○ 毎日学習する習慣を!

とにかく机につく習慣づけをしましょう。○時間(分)は、集中して勉強しよう。(○は、先生や保護者と相談して決めるとよいです。)勉強の後は、30分ほど読書がおすすめです。

○ 礼儀正しいふるまいを!

あいさつは、人の心をつなげます。家族や地域の方にも気持ちのよいあいさつをしましょう。家の手伝いもできるとよいですね。



○ 絶対に守ってほしいこと

午前10時までは、なるべく外へ遊びに行かせず、学習や家の手伝い(仕事)をさせましょう。午後5時には帰宅しておくことが基本です。また、水の事故や交通事故がとても心配です。学校でも繰り返し指導していますが、遊び場所・遊び方など、家庭でも指導をよろしく願います。子どもの外出先の把握をしっかりとしておくことがポイントです。